

銅山川地区地すべり防止工事見学会の開催

～ 治山事業による安全・安心の取組 ～

山形森林管理署 最上支署

国有林が実施している「民有林直轄地すべり防止工事」による安全・安心の取組を広くPRし、より一層理解を深めていただくことを目的に、下記のとおり見学会を開催しました。

平成23年8月29日、地元の大蔵小学校の6年生25名を対象に、支署及び共同企業体の職員が、地すべり発生のメカニズムや地すべり防止工事の内容等を説明した後、トンネル排水工等の工事箇所や、地すべりにより発生した滑落崖などを見学しました。

また、10月1日には、地元大蔵村及び近隣市町村に住む一般の方々から応募があった15名を対象に、同様の見学会を開催しました。

小学生及び一般の参加者からは、「自分が住んでいる地域で、このような大規模な工事をしていたことを知らなかった。」との声があり、今後とも機会ある毎にPRを実施していく必要性を感じました。

○大蔵小学校6年生の見学の様子



← 地すべり防止工事の説明に聞き入る生徒達



全員そろって記念撮影



← トンネル内部の見学の様子

○一般公募による見学会も開催しました。→

